



平成 22 年 6 月 21 日

各 位

会 社 名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 田原 廣哉
(コード番号 6927 東証 1 部・JASDAQ)
問 合 せ 先 取締役統括管理部長 川坂 陽一
(TEL 079-263-9500)

財務報告に係る内部統制の重要な欠陥に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 6 月 21 日開催の取締役会において、平成 22 年 3 月期の内部統制報告書に内部統制に重要な欠陥がある旨を記載する方針を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 重要な欠陥の内容と事業年度末までには是正できなかった理由

連結子会社のナカンテクノ株式会社は、平成 21 年 6 月 29 日に設立され、同年 7 月 28 日にナカン株式会社より事業譲渡を受け営業活動を開始しております。当該事業譲渡が行われた時点において、ナカン株式会社は民事再生手続中であり、同社については十分な内部統制が存在しておらず、また、同事業は海外向け機械の製作・設置業務を主としているために業務内容や会計処理が複雑である等の状況にありました。当社は、このような同社の状況に鑑み、より慎重なリスクの認識と当該リスクが財務報告に及ぼす影響を十分に評価し対応する体制を整備すべく、同社・同事業に係る全社的な内部統制及び業務プロセスに係る内部統制の構築を進めましたが、これらの内部統制の構築には相当の期間が必要であり、体制面、時間的な面からの制約により、十分な体制を整備・運用するまでには至りませんでした。

そのため、基準日時点におけるナカンテクノ株式会社に係る全社的な内部統制のリスクの評価と対応について、整備及び運用上の不備が存在しており、重要な欠陥に該当すると判断いたしました。

2. 重要な欠陥の是正内容

財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性は十分認識しており、前述の重要な欠陥を是正するために、当該会社の内部管理体制を再構築し強化することを目的に、期中より外部専門家等を交えた業務プロジェクトを発足及び推進しており、全社的な内部統制のリスクの評価と対応等の強化を行って参りました。その結果、内部統制報告書提出日現在において、ナカンテクノ株式会社の内部統制の整備状況については有効であると判断いたしました。

以 上